

## 本県の「希望出生率」について

- 1 昨年 10 月に開催した子育て支援・少子化対策県民会議及び基本計画策定部会において、出生数や合計特殊出生率を計画の目標指標とすることについて議論いただき、「何らかの数値目標があると分かりやすくなる」、「合計特殊出生率はデリケートで、女性としては抵抗感がある」等のご意見をいただいた。

日本創成会議の提唱する「希望出生率」の富山県のデータを算出することが、計画を検討するうえで参考になると考えられたことから、県在住の 20 代・30 代女性を対象に意識調査を実施し、県民希望出生率を算出した。

【県民希望出生率】：県民の希望が叶った場合の出生率  $\div 1.9$

(①既婚者割合  $\times$  ②予定子ども数 + ③未婚者割合  $\times$  ④結婚希望割合  $\times$  ⑤理想の子ども数)  $\times$  ⑥離別等効果  
富山県 = (①41.3%  $\times$  ②2.15 + ③58.7%  $\times$  ④91.5%  $\times$  ⑤2.09)  $\times$  ⑥0.938 = 1.89  $\div 1.9$

※対象年齢：20 歳～34 歳（回答 413 人）

（調査対象 2,000 人（20 歳～39 歳）、回答 655 人（回収率 32.8%））

全 国 = (① 34%  $\times$  ②2.07 + ③66%  $\times$  ④ 89%  $\times$  ⑤2.12)  $\times$  ⑥0.938 = 1.83  $\div 1.8$

※対象年齢：18 歳～34 歳

- 2 本県の「希望出生率」が 1.9 と算出されたことから、新たな計画においては、「第 3 章 計画の目標と基本方針」の中に、若い世代の希望が実現すると、出生率は 1.9 程度の水準になることを記載することとしたい。

（記載案） 若い世代の結婚・子育ての希望が実現するならば、本県の出生率は 1.9 程度の水準まで向上することが見込まれる。本県においてまず目指すべきは、若い世代の結婚・子育ての希望の実現に取り組み、出生率の向上を図ることである。

もとより、結婚や出産はあくまでも個人の自由な決定に基づくものであり、個々人の決定にプレッシャーを与えるようなことがあってはならない。

<参考> まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（H26.12.27 閣議決定）（抜粋）

若い世代の結婚・子育ての希望が実現するならば、我が国の出生率は 1.8 程度の水準まで向上することが見込まれる。この希望が実現した場合の出生率（国民希望出生率）=1.8 は、OECD 諸国の半数近くの国が実現している水準である。（中略）我が国においてまず目指すべきは、若い世代の結婚・子育ての希望の実現に取り組み、出生率の向上を図ることである。

もとより、結婚や出産はあくまでも個人の自由な決定に基づくものであり、個々人の決定にプレッシャーを与えるようなことがあってはならない。